



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

掲示板法話

お盆は 往きし人の 「最後の言葉」を思う仏縁



間もなくお盆(孟蘭盆会)の時期を迎えます。特に近頃大切な人を亡くしたご家族の皆様には、ひとしお亡き人を偲ぶ仏縁です。

お盆は孟蘭盆経(3世紀に中国で成立)にその起源が説かれます。お釈迦様のお弟子で、神通第一と言われた目連が母上の亡き後を訪ねると、餓鬼道に堕ちて苦しんでいる、と苦惱し、お釈迦さまに「餓鬼道に苦しむ母を救い出す方法」を尋ねた。お釈迦様は7月15日(雨期の安居(勉強会)の最終日)に大衆もろとも三宝(仏法僧)に帰依する法会を勧め、目連は母の救いを確信し、歓喜した。だからお盆は「歓喜会(かんぎえ)」とも言われる。孟蘭盆経について疑問視する向きもあるが、広い意味で「亡き」先祖方を偲びつつ、餓鬼道に堕ちても不思議でないような我々が共々にお浄土に往生して仏となる道を歩む自覚を深める仏縁」と素直に受け止めたい。

高齢者層に人気のテレビドラマ「やすらぎの郷」を見て、「最後の手紙」について考えさせられた。かつて活躍した女優や俳優たちが暮らす施設・や

すらぎの郷で悲しい事件が起きた。ある女優(富士真奈美)が男(津川雅彦)に捨てられ、居場所を失い身投げする。だが死の前夜に書かれた手紙がかつての友人だった女優(加賀まりこ)宛てに届く。「今までの事すべてにごめんさい、さよなら」という短い文面だった。その手紙を作家(石坂浩二)に見せて、「私には最後の手紙を書く相手がいないの」と言つて女優が号泣する。作家も「今生きている人の中に書きたい人はいない。敢えて書くとしたら、亡き妻ではないか?」と思いつく。

一見華やかで、リゾートホテルのコーテージ風の施設に住む老女優や俳優たちの寂しさ、心の闇を見せられた感が深い。「最後の手紙」を書く人はいますか? 人生の最後に、あなたはどんな言葉を残すのでしょうか?

先日、東京での懇親会の際に聞いた宮崎幸枝さん(みやざきホスピタル副院長・医師)の素敵な話がある。「医学という科学を駆使しても、個々の人々の思い、願いに寄り添うことに限度を感じる時、現代医療の無力感を味わいます」「病院の使命に欠かせない

☆行事ご案内☆

◇秋季永代経、講師;足利孝之先生(尼崎)

8月19日(土)午後1時半

20日(日)午後1時半

※お経開きは19日(土)午前10時半



◇孟蘭盆会(うらぼんえ)法要(2回目)

8月13日(日)午前8時半(正信偈、焼香、法話)

地元の方、納骨堂利用者等、誰でもご自由にお参り下さい

◇絵手紙教室 8月は休み、9月12日(火)午前10時、24回目

◇キッズサンガ8月5日(土)4時 鐘撞き夕方5時、年中無休

◇『第2回ファミリーコンサート in善正寺』10月1日(日)午後1時
好評に付、稲葉梨恵様と星合智美様の名コンビの3度目の来演。
親子で揃ってお楽しみ下さい。入場無料、終了後茶話会あり

◇初参式の赤ちゃん幼児募集! 来年4月21日(土)午後1時善正寺
三全仏婦主催、千円。地域の皆で子供の健やかな成長をお祝い。

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索、1年分の寺報閲覧。
毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」好評。開設9年で24万3千訪問、一日平均90人、悩み相談、大歓迎! 即返信

◇一縁会テレホン法話: 059・354・1454お電話下さい
3分間の法話の流れます。週替わりで5か寺の僧侶・坊守が担当。

◇新納骨堂: 後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談下さい

写真アラカルト



IMG_767

坊守スケッチ ブログの力



歌舞伎役者・市川海老蔵さんの妻・小林麻央さん(34)が亡くなって早1カ月。彼女の死は多くのファンの涙を誘った。昨年6月に乳がんを公表し、夫の勧めで病床のブログを書き始めた。乳がんと闘う自らの姿をありのままに告白することで、子育て中のママや、同じ病で苦しむ人、死を遠い先の話と思っていた若者達でさえ関心をもった。「ママが何もしなければならなくてごめんね」と5歳の娘と3歳の息子に詫言ながらの闘病生活は、さぞかし辛いものだったに違いない。家族は勿論、実家の母や姉に応援を頼んで入院生活。母親不在の寂しさは埋められないが、周囲のおかげで子供達はすくすく成長。彼女のブログの訪問者が、何と260万人以上と聞いて驚いた。私もその一人。訪問者数の累計は、ベストセラ―本の何冊分にも相当する。

彼女のブログが、何故これだけ多くの注目を集めたのか考えた。有名な歌舞伎役者の妻で元美人キヤスターという肩書があるにせよ、最大の理由は死期の迫った人間の赤裸々な告白、心情に溢れていたからだろう。ブログ読者からは、「今を大事に生きることを教わった」とか「同じ病氣と闘うものとして励まされた」等、数多くの感想が寄せられた。最期は自宅に戻り、夫に「愛してる」の言葉を残して、家族に見守られながら静かに旅立った。

とかく現代は、人間が死んで逝く姿が、家族から遠ざけられている。麻央さんは最後1カ月間を家族と過ごし、残された時間を濃密に共有して、子供達にも沢山の思い出を残した。

ところで私が毎朝散歩する前に書くブログも、丸9年経つ。今までの累計訪問者数は約25万人。一日平均90人程。世間の注目を集める記事は書けないが、日々のありふれた出来事を、坊守目録で丁寧に拾い集めて発信する。これが私の生きた証、皆様と心で繋がる唯一の発信手段と思うので、これからもよろしくお付き合い下さい。

カンパ有難う!

高木様、柴田様、澤田様、A O様、他匿名様より、お志、切手等頂き、感謝。

敬告

★川崎博史様(津市・6月20日)「往生、79歳」合掌

寄稿

四日市市 釋弘蓮
・亮ちゃんの声に寄り添うおじいちゃん

四日市市 釋清風

- ・短夜や夢想巡りて亡父の声
- ・合歡咲いて君安けくと風渡る
- ・梅雨の蝶床しく街路に愛の花
- ・梅雨晴れや名もなき草に露の玉
- ・蛙親子悲鳴とともに蛙鳴き

☆若院夫婦の「育自な毎日」その32

6月中旬、私は中央仏敎學院の通信教育の三年次のスクーリングに行ってきました。今年は卒業年次で、緊張感のある二日間でした。会場は京都の本願寺西山別院。ここは本願寺第三代覚如上人が復興されたお寺。境内には覚如上人の御廟もあり、その功績を偲ぶこともできました。何より、西山別院が僧侶となるための得度習礼・敎師敎習研修道場の場であり、その雰囲気自然と気持ち引き締められました。

全国から集まってきた受講生は年齢も経歴も様々。話題も豊富で面白く若輩の私は聞き役でした。名古屋のHさんとは昨年に続いて同じ部屋。今年新たに広島先の坊守さん、東京から在家出身の父親と息子さん等と親しくなりました。今後も通信教育で学んだ友と、縁を繋いでいきたいと思えます。肝心の試験結果はまだ届きませんが、達成感に満たされ、サポートしてくれた家族へ感謝しています。

留守中の子供の様子が一番心配でした。しかし長男(5)は昨年のように泣きべそはかかず、自転車の練習や、庫裏のジェットバスを楽しみました。長女(2)は私の実家の父が孫守り応援で駆けつけ遊んでくれました。一年の月日は子供を一步一步成長させてくれていると実感しました。(若坊守)



お知らせ&募集

◇8月13日(日) 午前8時半「五圓盆会法要」地元の方、納骨堂ご利用の方、有縁の方々等、「ご自由にご参加下さい。本堂で正信偈、焼香、住職法話、お茶接待等。ご家族でどうぞ!」

◇第二回ファミリーコンサート・10月1日(日) 午後一時。稲葉梨恵様、星合智美様他、入場無料、終了後茶話会あり、親子連れでご参加下さい。

◇初参式の赤ちゃんとお誕生募集! 来年4月21日(土) 一時、三全仏主催。会費千円、地域の皆さんと子供の健全な成長をお祝いしましょう。

善正寺・今年後半の主な行事
※8月19・20日共に午後「秋季永代経」(足利孝之先生・尼崎)

※9月17日(日) 午前・午後「小杉町追悼法要」(藤澤信照先生・滋賀)

※11月2日午後と夜・3日午前「報恩講」(藤大慶先生・京都府)

※11月23日午前「秋勧進」

※12月2日(土) 午前10時半「お内仏報恩講」庫裏。昼食有

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第二百八十四号をお届けします。◇「八月や六日九日十五日」という句がある。広島、長崎、終戦の日を偲び、今平和の裡にこの日を迎えられる有難さをかみ締めたい。◇命の質を問われる時、「お浄土が信じられるかどうか」が重要。「お浄土が楽しみ!」と働く看護師さんがいると聞いてなるほどそうか」と南無・合掌。

蟬の音が聞こえる季節になりました。曇鸞大師は「世間は春秋を知らない。今生きているのが夏であることさえも知らない」と仰せになりました。私達はそれを見て憐れんではいけない。私達も似たり寄ったりだからです。情報過多の現代社会では、何もかも知っていると思いがちです。分からないことは検索すれば即座に答えを出してくれます。それなのに何故か満たされず、いつも不安に駆られます。行き詰ってウツになる人も急増しています。ますます無明の闇をさま迷う姿です。一旦立ち止まって自分と正しく向き合い、自分の心を映す鏡を持ちませんか？法話を聞くことは、心映す像の鏡を持つことなのです。ところで十四歳の藤井聡太四段の活躍で今や空前の将棋ブームです。将棋に無関心だった私さえ、初心者用の駒を買って初挑戦。しかし家族の誰も相手にならなくてくれません。動物将棋を予えた孫でさえ興味がないようです。藤井君は何故あんなに強いのが不思議です。先の先も読んで長考する姿に感動しました。凡人ならば諦めてしまいたいようなことも粘り強く耐えて、窮地から抜け出す道を探す付と孤独で厳しい世界、ますます闇で光を見つづけるようなものです。将棋は仏教に通じるものがあるのかももしれませんね。八月はお金の季節です。善正寺では昨年からお本堂で盃蘭金念法要を勤めもす。有縁の方はご自由にお参り下さい。また19日、20日は永代経（足利孝之先生）お誂い合わせてお参り下さい。合掌

平成二十九年八月

善正寺坊守拝